



今日は【おうち英語における他力本願】
について書いてみたいと思います。

本来、他力本願とは仏教用語で、
「自らの修行による功德によって悟りを得るのでなく、
阿弥陀仏の本願で救済されること」
を意味する言葉です。

当たり前ですが、
おうち英語は阿弥陀仏を熱心に拝んでも、
子どもがある日英語を突然話し始めるなどのご利益を授かることはできません。。。

もしそんなことができるなら、
私はオンライン英会話スクールなど運営せず宗教法人を運営しますね(^^;

ここでは、本来の言葉の意味からは
間違った意味での使い方になるかもしれませんが、
世間一般的に【他力本願】の意で捉えられている(と思われる)
「自分の努力で何とかするのではなく、
他人が自分のために何かをしてくれることに期待をかけること」
という意味で話を進めていきたいと思います。悪しからずご了承くださいませ。

■目次

- おうち英語で他力本願<できる>こともある
- おうち英語で他力本願<できない>こともある
- おうち英語は誰がする？
- おうち英語で一番大切なこと

●おうち英語で他力本願<できる>こともある
おうち英語に限らず何でもなんでもそうですが、
この世は自分だけで生きていけるわけではなく、
人や縁や環境など自分を取り巻く万物
あらゆるものに助けられていると思っています。

それ故に、当然、おうち英語においても
<他力本願できること>があると思います。

まず一つ目は
「人が生まれながらに持つ言語取得能力」
ですね。

これはなにか特別な能力開発講座などを受講しなくても、
言語習得に必要な環境を整えることで発動させることができるもので、
人が神から与えられた能力と言えます。(やっぱり宗教化狙ってる?)

おうち英語を続けていても、
思うように発話が出てこないなどの局面で
「ああ、もうウチの子はダメかも・・・」
と弱気になる場合もあるかもしれませんが、
そんな時は、「やるべきことをやっているならば」
という前提条件は付きますが、
神が人に与えてくれたこの能力を心穏やかに信じて
結果を天に委ねて待つていれば良いと思うのですよね。

この他力本願はアリだと思います。

もうひとつおうち英語において他力本願を望めることは、
<アウトプットの外注>だと思っています。

現にわが家もオンライン英会話という
他力本願ツールがなければ、
わが家のおうち英語は成り立たなかったのも、
本当に感謝しています。

フィリピン人の先生方、本当に本当にありがとう♥

今、私はオンライン英会話スクールを運営していますが、
その運営を始めるきっかけも
運営を続けるモチベーションとなっているのも、
すべてはその感謝の気持からです。

フィリピンの先生方がいなかったら、
親の私が満足に英語で語りかけることができなかったのですから、
子どもの英語を引き出すことも伸ばすこともできなかったでしょう。

そういう意味で、
フィリピンの先生にもインターネットにも
その当時オンライン英会話スクールを先駆けとして運営して下さった方にも
本当に感謝しております。
人は、周りの人に、環境に助けられて生きているなど感じますね。

そういう意味で、同じことを目標に掲げ、
頑張っている方からの情報、交流というのも頼れるものとなるかと思います。

私もわが家のおうち英語全盛期を振り返ってみると、
ネット上の情報、ネット上の交流がどれほど役に立ったかわかりません。
いくらおうち英語が孤独な営みと言えども、
一人で成し得ることはほぼ不可能なんですよね。
ああ、私達は大きいなるものに生かされているなあ・・・(また宗教臭?)

ここでこの記事を終えたら、
おうち英語宗教化の布石で終わってしまいそうですが、
私がこの記事で主にお伝えしたいことはそれではありません。

おうち英語には他力本願<できない>こともあり、
どちらかというと、実は<できない>ことの方が
おうち英語の根幹に関わる重要な要素とも言えると思うからです。

●おうち英語で他力本願<できない>こともある

では、その他力本願<できない>ことは何か。
それはもう日々のご家庭でのおうち英語の取り組みそのものですね。

今、SNSの普及により昔に比べ、
様々な情報を手軽に手に入れることもできます。

あらゆるノウハウにアクセスできますし、
その選択に悩んだら、他者に相談することもできちゃったりします。

でも…あくまで入手できるものは【情報】に過ぎないんですよね。

その情報の入手先が有償無償を問わず、情報は情報です。

いくら高額なサービスを受けたとしても、
どんなカリスマからその情報を買ったとしても、
その情報をどう活用するかが重要なわけで、
お金で解決できるものではありません。

当たり前ですが、教祖様からの有難いお言葉もご祈祷も無効ですよ…。

情報をゲットして輝かしい未来を想像するだけでは、
何もおうち英語は進みません。

この点においては全く他力本願できず、
おうち英語を成功させるためには手に入れた情報を日々の生活に取り入れ、
毎日コツコツ取り組んでいくしかないのです。

そしてそれに取り組むのは【親】なんです。
大切なところは、おうち英語をするのは子どもじゃなくて親ということ。
親は主人公ではありませんが、裏方である親のサポートなしにはおうち英語は成り立たないのです。。。

●おうち英語は誰がする？

おうち英語を通して英語を身に着けていくのは子どもたちですから、
子どもたちが主体的におうち英語を行っていくかのような
イメージがあるかもしれませんが、
語弊を恐れず言えば、
かなりのところまで【おうち英語は親がやるもの・リードするもの】です。

子どもが自主的にやってくれるなんてことは期待できません。

いくら小さい頃から英語を与えてきたとしても、
日本の一般家庭という環境で育てば、
子どもの母語は日本語となり、
子どもにとっても日本語の方が断然理解するのが楽なことは変わりません。

楽な方を選ぶのは人の常。。。。

子どもが日本語音声を選択したとしても誰がそれを責められましょうか。

Disney +のドラマの英語が難しすぎて

日本語字幕を出してしまう怠惰な英語学習者の私には
責める資格ナシ・・・(-_-)

子どもも人なり。

子どもも楽な方法があると知ったなら楽な道を選択したがるものです。

そして、親も人なり。

たいしたことではないと思いがちですが、
海外アニメのDVDを入れて見せるのも、
かけ流しのボタンを押すのも、
洋書絵本を一緒に楽しむのも、
オンラインレッスン予約するのも、
実は実は、非常に面倒くさいもの。

毎日仕事、家事、子育てでただでさえ忙しいのですから、
ついつい忘れてしまったり、
後回しにしているうちに、
気が付けば「結構な日数やってなかった！」なんてこともあるのかも・・・。

私も過去を振り返ってみると、
時々面倒臭さから「ま、今日だけいっか」と思ってしまったこともありますし、
元々の忘れっぽい性質も手伝って「あー、今日やってなかったー！」ということもありました。。。。

しかし、我も人なり。。。。

そりゃ毎日毎日ロボットのように続けられるわけもなく。。。。

そう諦めて、面倒くさがる私、忘れっぽい私を許容しつつも、
執念深い自分を鼓舞しつつ、なんとか19年間続けてきた経緯があります。

●おうち英語で一番大切なこと

それはもう「続けること」

それ以外にありません。

続けると一口に言っても、
1年や2年のことではありません。

現にわが家なんて、
この春から上の娘は大学生になり、
下の息子は高校生になりましたが、細々とではありますがまだ続けています。。。

3日坊主常習の私ですから、何度やめたくなったことか。。。

でも19年走り続けてきて、
時々ダラダラ走ったりしたこともあったものの、
歩みそのものを止めなくて本当に良かったと思っています。

走り続けることは苦しいことではありますが、
自分が走らなければ一歩も前には進みませんよね。
おうち英語もそれと同じかと思います。

親がDVDを見せるように段取りしなきゃ、
かけ流しのスイッチ押さなきゃ、
洋書絵本も手に取らなきゃ、
誰も変わりにそんな面倒臭いことをしてくれる人はいません。

英会話スクールに入れたって、
プリスクールやインターに入れたって、
子どもの好みや性格、レベルを考慮して
オーダーメイドでやってくれるフルサポートは期待できません。

こればかりは他力本願できないんじゃないかと思います。

頼れるものは己以外にありません。

僭越ながらおうち英語コンサルで
おうち英語についての相談をお受けしており
ご相談いただいたときはお悩みが解決するよう
経験から精一杯のアドバイスをさせていただきます。

しかし、私は門外不出の秘伝を有しているわけでもなく、
魔法が掛けられるわけではないので、
ただただ結局は「毎日頑張ってください!」と励ますのみ…です💧

しかしながらそのエールは口先のものではなく、
時々サボったり怠けたりしながらでも走りきった経験から、
走りきった先に見えるものを可能な限り
具体的にアドバイスとさせていただきますつもりです。

おうち英語とは孤独なもので、誰かに丸投げすることもできないもの。。。

おうち英語を始めたからには、
他力本願<できること>と<できないこと>を見極めて、
他力本願できることは割り切ってお願いして、
できないところは愚直にコツコツと毎日やれる範囲で
続けていくしかないのだと思っています。

近頃、おうち英語の認知度も上がり、
バイリンガル目指しておうち英語に取り組む方も
増えてきているように感じます。

ラッキーキッズを増やしたい私としては、
その流れは大歓迎なわけですが、
残念ながらそれに伴い、
いろいろ「んんん?」と思うようなサービスも乱立してきているように感じています。

コツコツが求められる単調なおうち英語では、
時に魔法のように魅力的に響く勧誘キャッチコピーに
心奪われることもあるかと思いますが、
そんな時は【他力本願できること】なのか【できないこと】なのか、
少し立ち止まって考えていただけたらな〜と老婆心ながら思い、
私が思う他人に任せられること、お金で解決できることを書いてみました♪
どなたかのご参考になれば(^^)